全国を概観した地震動予測地図

National Seismic Hazard Maps for Japan (2008)

地震調査研究推進本部地震調査委員会

The Earthquake Research Committee, the Headquarters for Earthquake Research Promotion

検索ワード 地震調査 検索 http://www.jishin.go.jp/

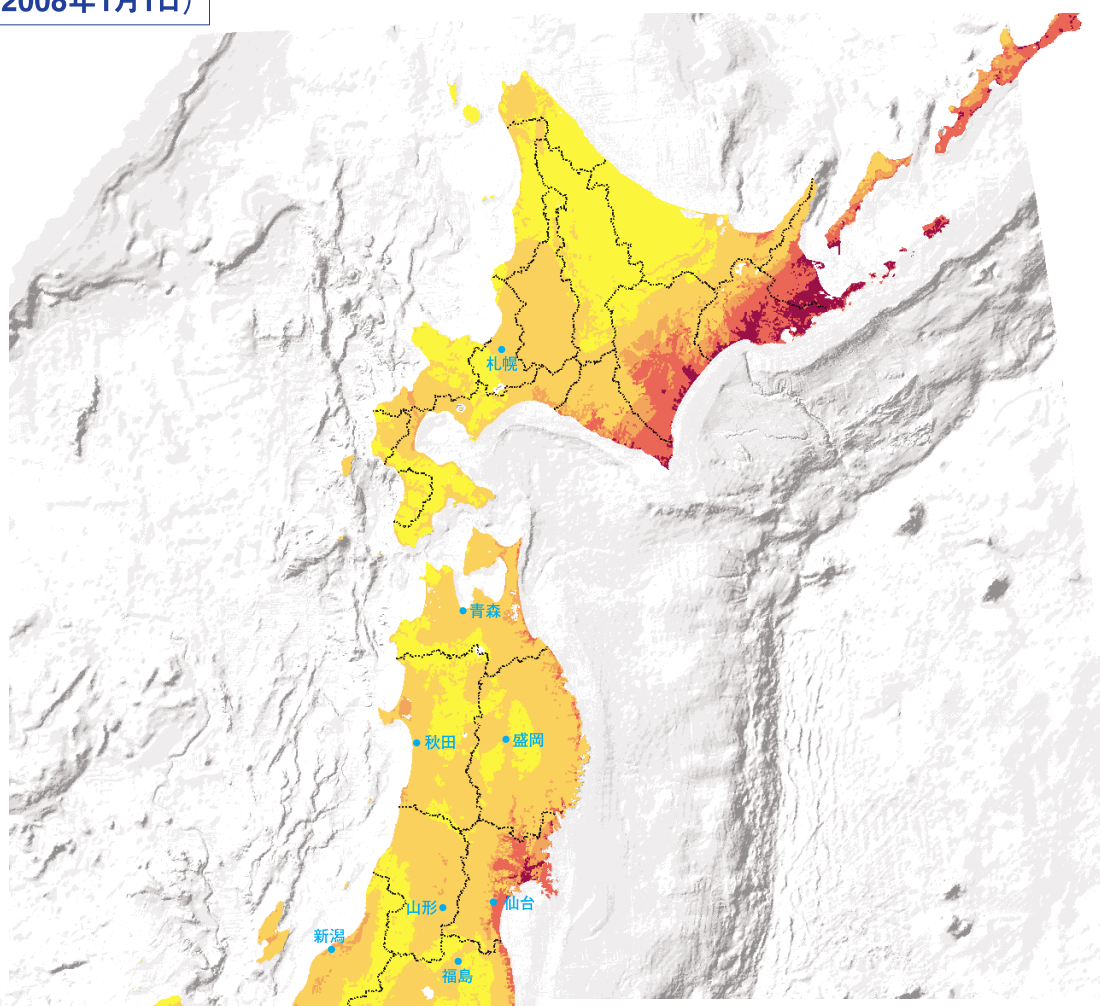
確率論的地震動予測地図 Probabilistic Seismic Hazard Map（基準日:2008年1月1日）

今後30年以内に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率

「全国を概観した地震動予測地図」とは、ハザードマップ（災害予測地図）の一種で、これまでの地震調査研究推進本部の成果を地図にまとめたものです。

この「確率論的地震動予測地図」は、日本全国を対象に「その場所が今後30年以内に震度６弱以上の揺れに見舞われる確率」を色分けして示しています。

主な活用方法としては、「地震に関する調査観測の重点化の検討」、「地域住民の地震防災意識の高揚」、「土地利用計画等の基礎資料」、「重要施設や企業の立地などリスク評価における基礎資料」等での利用が考えられます。



2008年（平成20年）

5月 MAY

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3 憲法記念日
4 みどりの日	5 こどもの日	6 振替休日	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

1925（大正14）.5.23
北但馬地震 M6.8
死者 428名

1960（昭和35）.5.23
チリ地震津波 M9.5
死者・行方不明者 142名

1983（昭和58）.5.26
日本海中部地震 M7.7
死者 104名

6月 JUNE

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

1896（明治29）.6.15
明治三陸地震 M8.5
死者 21,959名

1948（昭和23）.6.28
福井地震 M7.1
死者 3,769名

7月 JULY

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21 海の日	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

1993（平成5）.7.12
北海道南西沖地震 M7.8
死者・行方不明者 230名

2007（平成19）.7.16
新潟県中越沖地震 M6.8
死者 15名

8月 AUGUST

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24/31	25	26	27	28	29	30

1896（明治29）.8.31
陸羽地震 M7.2
死者 209名

9月 SEPTEMBER

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15 敬老の日	16	17	18	19	20
21	22	23 秋分の日	24	25	26	27
28	29	30				

1923（大正12）.9.1
関東地震（関東大震災）
M7.9
死者・行方不明者
10万5千名余

1943（昭和18）.9.10
鳥取地震 M7.2
死者 1,083名

10月 OCTOBER

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13 体育の日	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

1891（明治24）.10.28
濃尾地震 M8.0
死者 7,273名

1894（明治27）.10.22
庄内地震 M7.0
死者 726名

2004（平成16）.10.23
新潟県中越地震 M6.8
死者 68名

11月 NOVEMBER

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3 文化の日	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23 勤労感謝の日 / 30	24 振替休日	25	26	27	28	29

1930（昭和5）.11.26
北伊豆地震 M7.3
死者 272名

12月 DECEMBER

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23 天皇誕生日	24	25	26	27
28	29	30	31			

1944（昭和19）.12.7
東南海地震 M7.9
死者・行方不明者 1,223名

1946（昭和21）.12.21
南海地震 M8.0
死者 1,330名

2009年（平成21年）

1月 JANUARY

日	月	火	水	木	金	土
				1 元日	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12 成人の日	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

1945（昭和20）.1.13
三河地震 M6.8
死者 2,306名

1995（平成7）.1.17
兵庫県南部地震
（阪神・淡路大震災）
M7.3
死者・行方不明者 6,437名

2月 FEBRUARY

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11 建国記念の日	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28

3月 MARCH

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20 春分の日	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

1872（明治5）.3.14
浜田地震 M7.1
死者 約550名

1927（昭和2）.3.7
北丹後地震 M7.3
死者 2,925名

1933（昭和8）.3.3
昭和三陸地震 M8.1
死者・行方不明者 3,064名

2007（平成19）.3.25
能登半島地震 M6.9
死者 1名

4月 APRIL

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29 昭和の日	30		

交通事故で死亡、火災で死傷 発生確率はともに30年間で0.2%

事故や災害を例にとって30年間の発生確率を見ると、交通事故による死亡は約0.2%※1、火災による死傷は約0.2%※2という統計があります。地震の発生と同様、この数字は確率としては低いものですが、多くの人はその危険性を日頃から意識して気配りをしています。もちろん、地震は避けられない天災であり、交通事故や火災と単純に比較することはできませんが、たとえ確率が低くても地震も「身近な危険」としてとらえる姿勢が求められているのです。

※1、※2 平成16年警察白書・消防白書の統計に基づき、一定の仮定のもとに計算。

交通事故で死亡

30年間で約0.2%

火災で死傷

30年間で約0.2%

自然災害・事故等の年発生確率の比較

●交通事故で負傷	24%
●ガンで死亡	6.8%
●空き巣ねらい	3.4%
●火災で罹災	1.9%
●ひったくり	1.2%
●大雨で罹災	0.50%
●台風で罹災	0.48%
●航空機事故で死亡	0.002%

＊平成16年警察白書・消防白書等の統計資料に基づき、一定の仮定をもとに計算

このカレンダーの地震は、気象庁ホームページ（明治以降死者・行方不明者100名以上の地震・津波）及び内閣府（防災担当）ホームページ（平成16年新潟県中越地震、平成19年能登半島地震及び平成19年中越沖地震）より作成したものである。

今後30年以内に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率

高い
- 26%以上
- 6%～26%
- 3%～6%

やや高い
- 0.1%～3%

- 0.1%未満

文部科学省 研究開発局 地震・防災研究課（地震調査研究推進本部事務局）

〒100-8959 東京都千代田区霞が関三丁目2番2号 電話03-5253-4111（代表） E-mail:jishin@mext.go.jp

Earthquake and Disaster-Reduction Research Division , Research and Development Bureau, Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology

3-2-2 Kasumigaseki, Chiyoda-ku, Tokyo, 100-8959, JAPAN

この地図は、文部科学省の委託により、（財）地震予知総合研究振興会地震調査研究センターが作成した。

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000（空間データ基盤）を複製したものである。（承認番号 平19総複、第1210号）

この地図の海底地形は、日本海洋データセンターの水深データを使用したものである。